

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ヤコブ 5:11 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- \*賛美 …… 36番 天つ御使よ
- \*交読文 …… 15番
- \*使徒信条 …… 会衆一同
- \*頌栄 …… 170番 主のみ慈しみ
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:朴執事 天声:小林 伝道師
- 賛美 …… 487番 いくつしみ深き
- メッセージ …… 祝福が倍になって流れてくるための二つの鍵(ヨブ記 42:1-6)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …… 340番 主と主のことばに
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- \*主の祈り …… 会衆一同
- \*祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

\_\_\_\_\_はイエスに言った、「主よ、\_\_\_\_\_がかわくことがなく、また、ここにくみにこなくともよいように、その水を\_\_\_\_\_に下さい」(ヨハネ 4:15)

その日\_\_\_\_\_は言う、「主よ、\_\_\_\_\_はあなたに感謝します。あなたは、さきに\_\_\_\_\_にむかって怒られたが、その怒りはやんで、\_\_\_\_\_を慰められたからです。見よ、神は\_\_\_\_\_の救である。\_\_\_\_\_は信頼して恐れることはない。主なる神は\_\_\_\_\_の力、\_\_\_\_\_の歌であり、\_\_\_\_\_の救となられたからである」。

\_\_\_\_\_は喜びをもって、救の井戸から水をくむ。その日、\_\_\_\_\_は言う、「主に感謝せよ。そのみ名を呼べ。そのみわざをもらもろの民の中につたえよ。そのみ名のあがむべきことを語りつげよ。主をほめうたえ。主はそのみわざを、みごとになし遂げられたから。これを全地に宣べ伝えよ。シオンに住む者よ、声をあげて、喜びうたえ。イスラエルの聖者は\_\_\_\_\_のうちで／大いなる者だから」。(イザヤ 12 章)

ヨブ記の46回に渡る講解説教が終わった。以前のヨブ記のイメージは、何か知的で崇高な議論が展開されているな、でもあまり読みたくないな、というイメージがあったかもしれない。しかしこの中から多くの真理を発見し、大きな恵みを受けた方もいたと思う。ヨブ記全部のメッセージ概要はホームページに記したが、今回、ヨブ記の最初と最後のキアズムから、ヨブ記の結論と、2倍の祝福を受けるためのコツを探りたい。

ヨブは正しい人で、神を恐れ、悪から遠ざかっている人だった。彼の7人の息子達は、それぞれの誕生日ごとに集まって、飲み食いする事を常としていたが、一巡する毎に、ヨブは彼らと呼び寄せ、彼らの数に従って燔祭を捧げた。もしかしたら彼らが罪を犯し、心で神を呪ったかもしれない、と思ったからである。

それは一見、正しい事のように見られがちだが、罪を犯すかもしれない酒宴の場所で子供達を取り締まる事なく、その目を楽しませ、どんちゃん騒ぎの事後、犯したか犯していないか分からない「あやふや」な罪のいけにえを捧げる事でキャラにしようとしても、サタンの追求は免れられない。

もし「罪を犯したかもしれない」という不安要素があるなら、神が喜ぶ事と忌み嫌う事の何かを事前に教え、それをしないよう指導するべきだった。結局、ターゲット不明の悔い改めの乱発は、罪はこれでキャラになった、自分はもう義だ、という思い込みを助長させただけで、ヨブ自身にも、祈ってもらった息子達も、有害以外のものはもたらさなかった。後に分かるが、ヨブは、「自分は正しい」という思い込みを奥深くに助長し続け、ついには神よりも自分を義とし、3人の友人達を閉口させてしまう程までになってしまっていたのだ。神はそれを取り扱うために、サタンの申し出を許可し、こうしてヨブは、一切のものを失ってしまう。

こうして、詩文体による長々としたヨブの訴えと、友人達の議論が始まるのだが、主エホバの御名が一切無い人間の議論は、ただ怒りと無秩序をもたらすのみである。しかしヨブが神の直接の取り扱いを受けた結果、ヨブがした「二つの事」の故に、後の人生の祝福が倍になる。膨大な文量に埋もれて見つけ難いが、災いが取り去られ祝福が倍増するコツは、実にシンプルだ。私達は、この「宝」を知らなくてはならない。

その一つは目は、ヨブが神に告白した次の告白だ。すなわち、**神はどんな事でも最善を為して下さるのに自分は知りもせず、それを暗くしてしまった、だから自分は自らを捨て、悔い改めます、という告白**である。

『それでわたしは「みずから恨み(マアスの未完了単数形:自らを継続して捨て続け)」、ちり灰の中で悔います』(ヨブ記 42:6) ヨブはこの時、それまでずっと握りしめて離さなかった「自分は正しい」「神の仕方は納得できない」という「自ら」を捨て去り、自分を低くした。神の御前における「善悪判断」の放棄である。それは、無闇に思考停止する事でも、強制力に屈して洗脳を受け入れる事でもない。ヨブが2節で告白した通り、主はその全智の最善をもって全ての事を為すお方だ、それだから、御前に自分を捨てる、という、まことに理に合った、積極的な「捨てる」なのだ。これこそ、祝福が流れてくる扉を開ける最初の鍵である。

**祝福倍増の二つ目の鍵は、友人達のために、祭司として、神の指示の通りに執り成し祈った事**である。

この友人達は、本質を外した格言の押し売りによって、ただでさえ苦しいヨブをさらに苦しめた。神はそんな彼らに、ヨブの所で燔祭を捧げ、彼に祈ってもらうよう指示した。結果、彼らの罪は赦され、同時にヨブにも祝福が帰って来た。以前は息子達のために、無闇な犠牲を捧げたが、今回は神の指示に従い、それも、自分を苦しめた者のため、赦されるよう、主に祈った。義人のとりなしによって、罪を犯した者は罰を免れる。すなわち神は、義とされた人に、執り成し祈る事を求めておられる。神はアブラハムやモーセの執り成しを聞いて下さり、また執り成す者がいないために神が滅ぼさざるを得なかった事もある。(エゼ 22:30-31)

神は、ご自分ひとりで赦しを完結されるのではなく、誰かの執り成しがあってこそ、その人を「赦す」機会を得る。だからこそ人類の贖いには、十字架上のイエス・キリストによる執り成しが必要だったのだ。

執り成し祈る者を、神は豊かな報いを与え、大いなる者として下さる。アブラハムやモーセ、ヨブのように。ヨブ記の結末は、あつけなく見える。一体あの膨大な問題提起と議論は何だったのだろうか、と思える程。それ故、祝福の鍵を見落としやすい。祝福の引き金は、ヨブのように、自分を低くし、御前でそそり立つ「自ら」を捨て、悔い改める事。それで義とされたなら、執り成し祈る事である。ヨブ記は人生の縮図と言える。人生の膨大な理不尽への「なぜ」追求や、自己正当化や、神と人とを訴える事を、全てを降ろし、神を高め、人のために執り成し祈る時、大きな祝福に与れる。それが、ヨブ記全体から導き出せる答である。

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

#### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ/賛美 12:30～  
2部礼拝 14:00

#### 日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
火～木 夜の祈祷会 19:30～

#### 水曜礼拝

金曜徹夜祈祷会 21:00～  
1部 13:00～  
2部 19:30～

### アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube